

課題名 中国の「農村小規模学校」における教育改善への
取り組み
— 湖北省の農村小規模小学校の「90 後教員」の事例を
中心に —

研究代表者名 劉 靖 (先端教育研究実践センター)

研究の目的と方法

- (1) 研究目的: 本研究は、中国の「農村小規模学校」における教育改善への取り組みに着目し、湖北省の農村小規模小学校 A 校の「90 後教員」(1990 年代に生まれた教員)の事例分析を通じて、この取り組みへの若手教員の参加による教育改善の実態ならびに課題を明らかにすることを目的とする。
- (2) 研究方法: 本研究の分析に用いたデータは、現地調査によるインタビューおよび政府の政策文献や報告書などである。具体的に、2000 年以降に中国中央政府および地方政府が発表した農村地域小規模学校振興の関連政策を整理し、農村小規模学校における「若手教員雇用及び育成」の展開の過程をまとめた。また、現地調査として、2012 年から若手教員採用及び育成を積極的に推進してきた中国湖北省鄖西県(貧困地域)の教育行政関係者、小規模学校の教員および校長に、インタビュー調査を実施した。

研究経過

- (1) 2019 年 7 月—8 月: 準備段階

中国の「農村小規模学校」における教育改善への取り組みに関する研究、「小規模学校の若手教員採用および育成」に関する国内・国際的な議論や研究をレビューする。2000 年以降に中国中央政府および地方政府が発表した農村地域小規模学校振興の関連政策を整理し、農村小規模学校における「若手教員雇用及び育成」の展開の過程をまとめた。また、日本を含む国際的な視点から論じた「小規模学校の教育改善」改革についての諸研究を、中国の「農村小規模学校」における教育改善改革に関する研究に基づいてまとめたものと合わせて、本研究の分析枠組みを構築した。

- (2) 2019 年 10 月: 研究倫理審査委員会からの承認(同意書作成)。
- (3) 2019 年 12 月: 中国湖北省鄖西県六郎郷の小規模小学校 A 校において調査実施。
- (4) 2020 年 2 月: 原稿の完成。

研究成果

農村小規模学校の振興により、現地政府は、積極的に県内の農村地域小規模学校に、大学卒かつ地元の学校で意欲の高い若手教員を採用していることが分かった。また、小規模学校の教育改善のため、採用された若手教員が、自らの専門知識およびネットワークを活かし学校内外の関係者と「教育共同体」を構築し、学習環境づくり、カリキュラム開発、教員研修、保護者およびコミュニティとの関係づくりなど、様々な学校の教育改善に関する取り組みを進めていることも確認できた。その一方で、教員不足による教員過労、教員の専門知識および研修機会の不足、教員生活環境づくりの不備といった課題が、農村地域における小規模学校の持続可能な発展および質の向上における障壁となっていることが明らかになった。

今後の課題

本研究では、一つの事例として、A校における若手教員の教育改善への取り組みと課題を中心に、教員および教育行政関係者とのインタビュー調査を実施した。今後、同地域の複数の小規模学校も調査対象としてみていく必要がある。また、保護者、生徒およびコミュニティ関係者との聞き取り調査を通じて、様々な教育改善に関する同僚性の構築および学校とコミュニティとの連携構築に関する力関係を明らかにしていきたい。

謝辞

- (1) 調査にご協力いただいた中国湖北省郟西県六郎郷（貧困山間地域）教育行政・学校関係者に感謝申し上げる。
- (2) 本稿は「東北大学大学院教育学研究科先端教育研究実践センター2019年度プロジェクト研究助成」を受け実施した研究成果の一部である。研究を支援していただいた東北大学大学院教育学研究科先端教育研究実践センターに感謝申し上げる。